

2023 年度 幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価

作成日

令和6年3月18日

法人名

園名

学校法人正和学園

幼保連携型認定こども園正和幼稚園

まとめ

全体平均

4.56

第2章第2節

乳児期の園児の保育

第2章第3節

満3歳以上満3歳未満の園児の保育

四季が感じられる起伏に富んだ園庭で、草花、木々、生き物などと触れ合うことも多かった。日常的に土や水などの素材に触れ合うことを多く持つ体験が充実していた。話したくなるような安心した雰囲気の中、園児は、自分なりの表現で伝えようとする姿がみられる。職員は、一人ひとりの伝えたい気持ちを尊重している。なお一層、一人ひとりの言葉や表現の背景について想いを巡らし、多角度から対話を重ねていく。歌は日常的に取り入れたい。

第2章第4節

満3歳以上の園児の教育及び保育

人の意見に耳を傾けたり、自分の思いを伝えたりすることを日常的に行っている。来園者や地域の方々にも積極的に話しかける様子が見られている。様々な素材に親しむ環境が、園内に散りばめられている。保育者主導ではなく、園児が自ら気づき、不思議さを感じて、それについて探究している。一人ひとりのイメージを動きや言葉で表現していく姿が日常的にみられるようにしていく。雨や風などの自然の音も含めた音をじっくりと聴く経験をより重ねていく。

第2章第5節

教育及び保育の実践に関わる配慮事項

同じ年齢で区切って育ちをとりえた一斉に行う保育・教育ではなく、保育者は、園児一人ひとりの姿に目を向けている。先にやり方を伝えるのではなく、園児自身が自ら試したり挑戦したりする過程を大切にしている。園児一人ひとりのペースに合わせて対応している。正規職員として看護師がおり、保育にも関わっているため、感染症の状況把握や体調の変化に細やかに対応している。

第3章

健康及び安全

安全計画を設定している。毎月、時間帯や想定をかえて、避難訓練を実施しているが、計画段階で精査が必要な場合がある。学校110番も設置しており警察官がすぐに駆けつけてくださる体制がある。消防署とも連携が図られており、火の使用時、防災訓練時には実施計画や報告をしている。

第4章

子育ての支援

保護者と園児の様子を分かち合うため、様々な媒体を利用しご家庭への発信を定期的に行っている。「ゆったりラウンジ@原町田」や「ころころひろば（親子遊びの会）」など、様々な時間帯に保護者が立ち寄れる空間や場所をつくっている。山崎団地との連携により、月に一度「山崎団地冒険遊び場」を実施している。近隣の大学生や地域の高校との連携が図られている。地域での小学校を含む関係者会議では情報共有等をしっかりと行った。

第5章

職員の資質向上

それぞれの経験年数に応じた園内研修の充実を図った。自らの専門性を図るために研修を受けることができ、その学んだことを毎月の職員会議にて自分なりの言葉で、他の職員に伝えていった。保育士等キャリアアップ研修は、正規職員1名につき1分野以上受講をすることができた。さまざまな研修、特に木育活動に関連する研修や幼稚園協会による研修は、参加できる体制を組むことができた。

総合

四季が感じられる起伏に富んだ園庭で、日常的に土や水などの素材に触れ合うことを多く持つ体験が充実している。自ら気づき、不思議さを感じ、探究している。安心した雰囲気の中、自分なりの表現で伝えようとする姿がみられる。歌を多く取り入れたり、雨や風などの自然の音も含めた音をじっくりと聴く経験をより重ねていく。職員は、一人ひとりの伝えたい気持ちを尊重し、それぞれのペースに合わせて対応している。日々の生活や活動のプロセスを丁寧にご家庭へ発信している。地域の方々や学生と協力し合い、駅前や山崎団地など園内にとどまらず、場所・時間・形態・参加方法もご家庭や地域の方々を選択できる地域活動を展開している。自らの専門性を図るために研修を充実させ、学んだことを他の職員と共有し活かしていく体制を組むことができた。

データ表

| 内容 | 項目数 | 平均 |
|-------------|-----|---------|
| 「乳児保育」 | 0 | #DIV/0! |
| 「3歳未満児保育」 | 32 | 4.50 |
| 「3歳以上児保育」 | 53 | 4.40 |
| 「教育保育の配慮事項」 | 10 | 4.70 |
| 「健康・安全」 | 29 | 4.62 |
| 「子育ての支援」 | 18 | 4.89 |
| 「職員の資質向上」 | 9 | 4.78 |
| 計 | 151 | 4.56 |

データグラフ

